中級者向け

まつぶし緑の丘公園コース

まつぶし緑の丘公園と中川周辺を歩く

歩行距離	歩数
8.5km	約14,100歩
歩行時間	**消費カロリー**
2時間50分	約440キロカロリー

※消費カロリーは、体重50kgの人が3km/hで歩いた場合

スタート まつぶし緑の丘公園バス停

- 16分 0.8km
- ① 光厳寺
- 18分 0.9km
- ② 八幡神社
- 14分 0.7km
- ③ 妙楽寺
- 14分 0.7km
- ④ 中川の堤防
- 58分 2.9km
- ⑤ 田園風景
- 30分 1.5km
- ⑥ まつぶし緑の丘公園
- 20分 1.0km

ゴール まつぶし緑の丘公園バス停

まつぶし緑の丘公園を基点に大川戸地区の北部と魚沼地区の南部を歩くコースです。大川戸地区には、県指定文化財である大川戸の大イチョウ（推定樹齢650年）があり、その大きさに圧倒されます。魚沼地区では、田園に集落が混在する昔ながらの風景が見られます。まつぶし緑の丘公園では、季節の折々に、ポピーまつり、コスモスまつり、農業収穫祭などが開催され、町民の方のみならず町外の方々も来場し、賑わいをみせています。また、水辺ゾーンでは様々な種類の野鳥やトンボなどを見ることができます。

① 光厳寺（こうごんじ）

帰依仏塔
（県指定史跡）
鎌倉時代後期の正安年間（1299～1301）に造立された大型の板碑（石製の卒塔婆）です。「帰依佛」の文字は、名僧一山一寧の書を写したとも伝えられています。

② 八幡神社（はちまんじんじゃ）

大川戸の大イチョウ
（県指定天然記念物）
八幡神社の社叢
（町指定天然記念物）
一説に建久元年（1190）の創建とも伝えられる八幡神社の社叢は、鎮守の森を形成しています。一際目を引く大イチョウは、推定樹齢650年、樹高29.2m、幹周り8.9m、根回り10.4mを誇ります。

③ 妙楽寺（みょうらくじ）

延宝の庚申塔
（町指定有形民俗文化財）
庚申塔は江戸時代に流行した民間信仰に基づくもので、町内にも数多く残されています。延宝の庚申塔は、延宝5年（1677）の造立で、町で二番目に古いものです。庚申塔に特徴的な「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿が彫られています。

バス停　コンビニ　トイレ　カーブミラー

▲水辺ゾーン

▲広場ゾーン

▲特産品販売

▲ポピー

▲コスモス

⑥ まつぶし緑の丘公園

里山、広場、水辺からなる原風景を創出し、樹林や野鳥、草花、昆虫などとのふれあいを通じ、心も体も元気になる公園を目指し計画された26.5haの県営公園です。都市の基盤整備に伴う建設発生土を活用しながら、地域のランドマークとなる緑豊かな丘を築くなど、「人と環境にやさしい都市公園」として整備を進めています。園内には野鳥散策の木道やトンボ池がある水辺ゾーン、遊具や芝生広場がある広場ゾーンがあります。（現在、里山ゾーンは整備中であり、平成28年に全面開園予定です。）年間を通じ様々なイベントが催されており、日曜日には園内のまつぶし緑の丘公園管理センターで、地元で採れた野菜や町の推奨特産品を販売しています。

新開橋
橋長　49m

グリーンベルトとは

歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色して、通学路であることを明確にし、交通事故を防ぐことを目的としています。

④ 中川の堤防

倉田橋から新開橋手前までの約1.8kmを歩きます。堤防沿いには昔ながらの集落が続き、田園風景や屋敷林などの景色が楽しめます。

⑤ 田園風景

新開橋を過ぎると、広大な田園が広がります。道端には様々な草花や昆虫を見ることができます。

いちごスタジアム（いちご狩り・季節の野菜販売）

「紅ほっぺ」「かおりの」「あきひめ」の3種類のいちごが甘～い香りでお出迎え！運が良ければ大粒のいちごに出会えるかも！

◆営業時期
・いちご狩り　12月中旬～5月下旬
・いちご販売　11月～6月
・野菜販売　通年
◆いちご狩り受付及び販売時間
9:30～（なくなり次第終了）
◆定休日
不定休（天候により赤い果実がない場合は閉園。確認の上、ご利用ください。）
◆TEL:080-3583-1633